

2020年度（第45回）

全国伝統的工芸品公募展

応募要項

応募期間： 2020年10月1日～11月6日

---



全応募作品を

国立新美術館

にて展示致します！

主催：一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会（略称：伝産協会）

後援（予定）：経済産業省・中小企業庁・日本商工会議所・全国商工会連合会・全国中小企業団体中央会



国立新美術館

より多くの人に見て頂き、伝統的工芸品の良さをもっと  
広く知って頂きたいという思いから、今年度より応募頂  
いた全ての作品を2007年に東京の六本木に開館した

## 国立新美術館

にて展示し、一般来場者への公開を実施いたします。

皆様の作品を世に問う絶好の機会となりますので、奮っ  
てご応募ください。

※入賞・入選作品はさらにその後、  
「伝統工芸青山スクエア」でも展示を実施致します。

美術館での展示の関係でスケジュール・条件・搬出方法  
など例年と異なる部分がございますのでご確認下さい。

# 主旨

長い間受け継がれた伝統的技術・技法に、現代生活の中で使われるための新しいアイデアや表現を取り入れた、市場性のある伝統的工芸品を公募し、魅力あふれる製品の開拓を行う目的で行います。

生活の中で実際に使用または飾ることができ、日常に潤いを与え、暮らしが楽しくなるようなものを募集いたします。

国内だけでなく世界のマーケットにも通じ、いつまでも大切に使いたくなる出品をお待ちしております。

## ●審査基準

1. 製造技術が範となる水準であること。
2. 用途を備え、用途に応じた機能、大きさ、重さ、意匠、耐久性を有すること。
3. 継続的に受注生産に対応できること。
4. 販売可能性が疑われる価格設定でないこと。
5. 作り手の独自のアイデアを生かした意匠や技術が見られるもの。
6. 現代のくらしの中で存在感を有するもの。

## ●期待する作品

使い手の日々が楽しくなり、明日から一生使える 伝統工芸品をお待ちしております。

- ・ 現代生活に取り入れられるために新しいアイデアをプラスした作品
- ・ 「生活に取り入れたい！」と思える消費者の意識をとらえた作品
- ・ 工芸品としての本質的な魅力を引き立たせながらも、新たなかたちで表現した作品



# 募集 概要

## ●応募資格

経済産業大臣指定伝統的工芸品及びこれに準じる伝統工芸品（以下、「伝統的工芸品等」という。）を生業として制作する個人、グループ（制作者と共同出品するプロデューサーを含む）、企業、産地組合、団体等。  
**カルチャースクール・個人教室の受講者、学生は対象となりません。**

## ●応募条件

- 1) 全国規模及びそれに準ずるコンクール（「日本伝統工芸士会作品展」を含む）に応募していないこと。
- 2) 製造工程のうち、製品の持ち味に大きな影響を与える部分は、**手作業**であること。
- 3) 日本国内で製造されたもの。 ※国内再加工品の漆器は可
- 4) 日用品を対象とし、特定の職業に使用されるためでなく生活習慣において使用されるものであること。
- 5) 販売可能であること。**また市場性を有した価格帯であり、継続的に受注生産に対応可能なものとする。非売品は不可。価格も評価項目の為、一年間据え置きとし、審査後の価格変更は受付けておりません。 ※入賞後であっても継続的受注販売が不可であることが判明した場合、受賞を取消す場合がございます。**
- 6) 一部に新しい素材を使用した工芸品の応募も可能。ただし、新素材の名称、使用理由、使用方法を明示し、伝産協会が認めたものに限る。（リサイクル・リフォーム商品を除く。）  
※プラスチックに漆を塗布した作品は不可。
- 7) 展示の際のたて・よこが1.5m以内、高さが、1.8m以内であること。
- 8) 特殊な取り扱いが必要ではなく、**日常生活の中での耐久性があること**。ただし、展示会場において適切な管理ができないと判断される場合は、ご出品をお断りする場合がありますので予めご了承下さい。
- 9) 組(セット)での応募の場合は、バラではなく**組(セット)として販売することを前提に審査・展示を行います**のでご了承下さい。
- 10) 設置・組み立てに特別な特殊な技能を要さず、**委託展示が可能なもの**。

## ●応募手数料

出品数： 1点または1組につき**5,500円** ※**振込時の振込手数料は応募者負担となります。**

納付締切： 2020年11月10日（火）

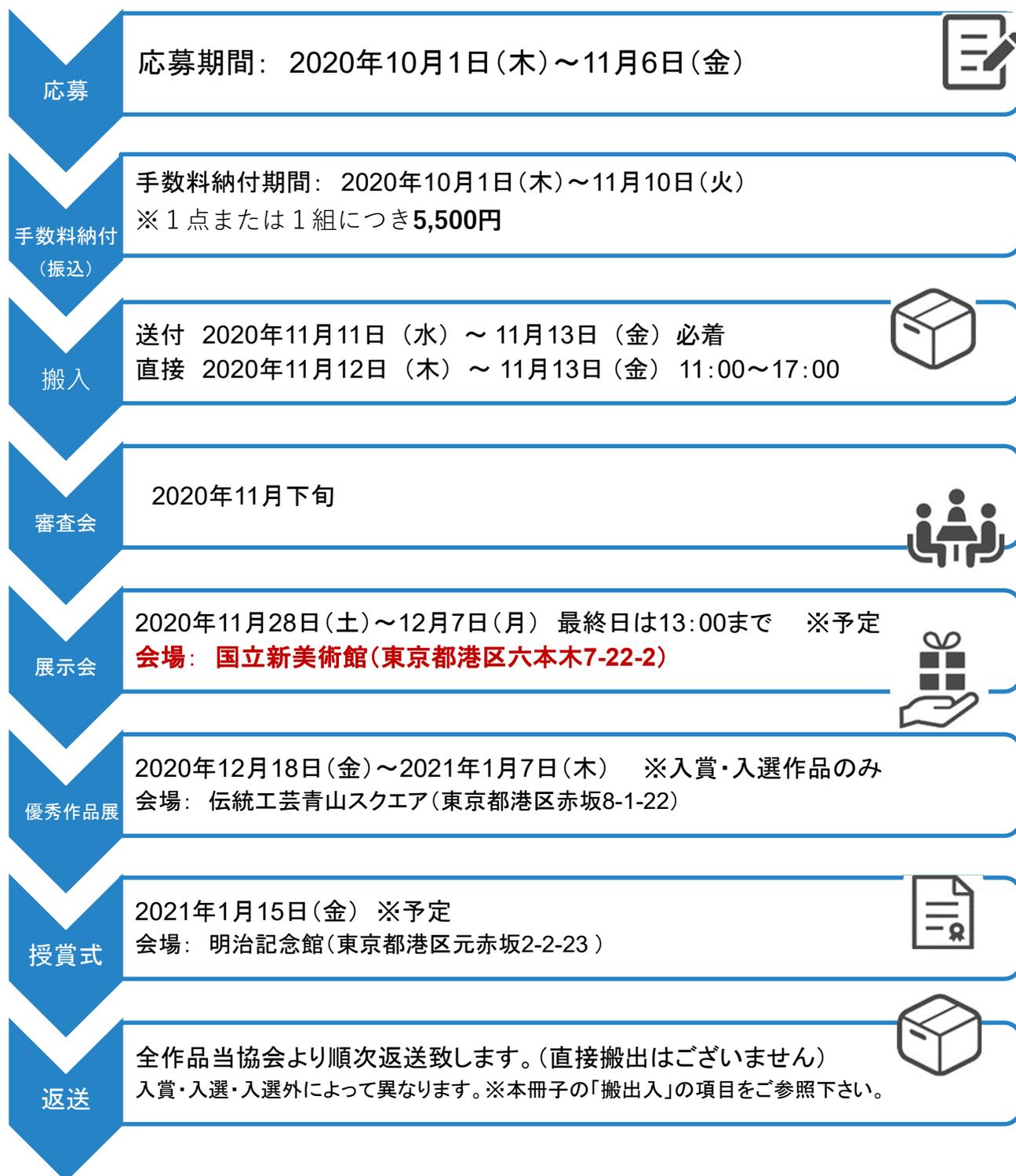
※複数応募する場合は合計額を**一括納付**して下さい。 ※納付された応募手数料は返却いたしません。

※応募手数料は振込のみで承っております。現金での直接でのお払いもしくは現金書留はご遠慮ください。

納付先：郵便振替口座：00140-6-253556

「一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会」（ザイ）デントウテキコウゲイヒンサンギョウシンコウキョウカイ

## 公募展スケジュール ～応募から返送までの流れ～



## 審査会

●日時：2020年11月下旬

●会場：国立新美術館

●審査結果発表：

受賞者・入選者への  
審査結果については、  
速報を郵送するほか、  
主催者のHPに掲載します。

(<https://kyokai.kougeihin.jp/>)

## 賞

審査員（予定）	※五十音順
宇野 万貴子	株式会社 高島屋 MD本部 呉服部 日本橋店呉服部長
内田 篤呉	MOA美術館・箱根美術館館長
亀山 涉	経済産業省 製造産業局 伝統的工芸品産業室 室長
北村 仁美	東京国立近代美術館工芸館 主任研究員
黒川 廣子	東京藝術大学 大学美術館 教授
小稲 彩人	岐阜県セラミックス研究所 専門研究員
田中 敦子	工芸ライター
棚町 敦子	「美しいキモノ」エディトリアル スーパーバイザー
林 克美	日本伝統工芸士会 副会長
日野 明子	クラフトバイヤー
増村 紀一郎	漆芸家 東京藝術大学名誉教授 重要無形文化財「髹漆」保持者
御手洗 照子	有限会社T-POT 代表取締役 株式会社t. gallery 代表取締役
宮川 孝昭	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会 代表理事

内閣総理大臣賞	1点	30万円
経済産業大臣賞	1点	20万円
経済産業省製造産業局長賞	1点	10万円
中小企業庁長官賞	1点	3万円
日本商工会議所会頭賞	1点	3万円
全国商工会連合会会長賞	1点	3万円
全国中小企業団体中央会会長賞	1点	3万円
一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞	1点	3万円
日本伝統工芸士会会長賞	1点	3万円
若手奨励賞（重複可）※従事数15年以下が対象	若干	2万円
バイヤー賞（重複可）	若干	2万円

## 国立新美術館での展示会 ※応募作品すべてを展示し、一般公開致します。

展示期間（予定）： 2020年11月28日（土）～12月7日（月）  
会場（予定）： 国立新美術館（東京都港区六本木7-22-2）

## 授賞式

日時（予定）： 2021年1月15日（金）  
会場（予定）： 明治記念館（東京都港区元赤坂2-2-23）



国立新美術館

## 搬出入

送付搬入	直接搬入
2020年11月11日（水）～11月13日（金）必着 ※伝産協会宛に着日指定でお送りください。 ※送料は応募者の負担とします。	2020年11月12日（木）～11月13日（金） 11：00～17：00 ※搬入する日時を「応募票」にてご連絡ください
<b>搬出委託</b> 本年は会場の都合上、全応募作品の搬出返送は当協会が行います。 (直接搬出は出来かねますのでご了承ください。)	
入選外： 国立新美術館での展示会終了後順次返送致します。 入選： 青山スクエアでの展示会終了後順次返送致します。 入賞： 授賞式後順次返送致します。	

## ●注意事項

### ◆送付及び搬入場所は下記住所となります◆

一般財団法人 伝統的工芸品産業振興協会 企画部（公募展事務局）  
〒107-0052 東京都港区赤坂8-1-22 2F

※国立新美術館への直接の送付及び搬入は固くお断りしております。

- ・外装梱包に「作品送付票」【様式2】を、作品と化粧箱に「作品貼付票」【様式3】を必ず貼付して下さい。
- ・返送費は協会負担。ただし運送保険は上代の7割の金額（上限30万円）にて付保いたしますので、ご了承ください。
- ・運送中のトラブルについて主催者は責任を負いません。車で搬入される場合、有料駐車場(自費)を各自ご利用下さい。
- ・家具や仏壇など組み立てを要する作品については別途ご相談ください。（委託展示が可能なものに限る）
- ・国立新美術館及び伝統工芸青山スクエアでの展示の際には最大限の注意を致しますが、万が一破損等が発生した場合は上代の7割（高額作品に関しては弁済額要相談）にて弁済致します。

## その他

- ・主催者は返送までの間、厳重に保管・保全に務めますが、天災およびその他不可抗力によって生じた損害についてはその責任を負いません。
- ・反物でご応募の場合は、一番見てほしい部分に付箋等で印をつけて下さい。
- ・陳列方法についてご希望がある場合は陳列方法を写真にて撮影して作品に同封下さい。ただし、会場のスペース等の都合でご希望に添えられない場合もございますので、予めご了承ください。
- ・意匠権等は応募者に帰属するものですが、展示や画像の掲載等は主催者が優先するものとします。
- ・入賞もしくは入選後に応募作品が本展応募条件及び要項と不適格な点が判明した場合は入賞・入選を取り消す場合がございます。

# 入賞作品 PR

## 【受賞者・入選者対象】

### ●全国伝統的工芸品公募展 優秀作品展

入賞・入選した作品を以下にて展示いたします。

会期： 2020年12月18日（金）～ 2021年1月7日（木）

11：00 ～ 19：00（初日12：00～、最終日18：00まで）

※12月29日～1月3日まで休館

会場： 伝統工芸青山スクエア（東京都港区赤坂8-1-22）



### ●入賞・入選作品より協会が一部購入

## 【入賞者対象】

入賞作品については様々な場面でPRし、広く発信していくことを検討しています

### ●協会PR画像として広告などに利用

### ●青山スクエアに常設コーナーを設置

### ●協会ホームページの公募展アーカイブで紹介

### ●協会主催イベントにて出展コーナーを設置 etc…

## これまでの受賞者からの声



受賞後メディアからの反響はありましたか

地方紙で取り上げてくれ、認知度向上を促せた

地方紙、業界紙や雑誌で取り上げられた。受賞後、メディアへの露出が増えた。



受賞後作品への問い合わせはありましたか。また、売上に影響はありましたか。

販売業と一般消費者両方からの問い合わせが増えた。特に販売業者からは多数問い合わせがあった。

作品に対して今回の技法を使った他商品への展開の話が来ている。

HPを見ての問い合わせだけでなく、取材を受けた新聞雑誌を見ての問い合わせがあった。

入賞作品の売り上げはもちろんのこと、入賞作品以外の売り上げも伸びた。



その他受賞してから変わったことがあれば教えてください。

人のお客様に製品説明をする際に説得力が増した

受賞したことによって作品に対する信頼度が高まった

来館者へPRが出来た。後継者育成に繋がる。

### 【2019年度入賞作品 販売数の一例】

内閣総理大臣賞	日本商工会議所会頭賞	日本伝統工芸士会長賞
有限会社浅田漆器工芸	大阪錫器株式会社	株式会社山口久乗
15点	138点 ※単品にて	300点

# 審査員から出展者へのアドバイス

## 「消費者のニーズは多種多様」

- ・個性を活かしながら、他の素材を融合させたものづくりに挑戦するのもよいかと思えます。見慣れたものでは満足されないのが現状かと思えます。
- ・現代生活といっても地域差、経済差、世代差など一様ではありません。今の人に作品を見て「これほしい!」と思わせるものが求められます。

## 「色使いも重要。配色に工夫を。」

配色の工夫で同じ形でも印象がかなり変わることもあります。その工夫だけで、購入しやすい価格帯に移行でき、デザイン性とそれに見合った価格を兼ね備えた作品に仕上がる可能性も出てくるかと思えます。これからは心理学を取り入れたものづくりというものも必要になってくるかもしれません。

## 「広く世の中の動きを捉え、縦の動きと横の動きを知る。」

時代にUP DATEということは自分のジャンル、直接自分にかかわりのある情報だけでなく広く今の中の中の動きをとらえるといいと思えます。また時代的な縦の流れと今世界でどのようなものが作られているのかの横の動きを知ることで世界マーケットの中で戦える商品が生まれてくると思えます。

## 「市場性の高さを捉え違いしないこと。」

一人の人間が考える市場性など、たかが知れています。まず、関わっている工芸品の本質的な魅力を掘り下げて、その魅了を引き出す現代的なアイテムを考えることではないかと思えます。現代的なアイテムに、工芸を加飾のように添えても、魅力はありません。自分の財布、自分の生活空間にはとられず、こんなものがあったら楽しいな、幸せだな、という大きいスケールで考えることが大事。市場をどこに置くかを具体的にイメージすることをまず言語化してはと思えます。

## 「どんな人にどんな場面で使ってほしいかを具体的に思い描いて。」

- ・価値観が多様化、急速に変化している今の時代、時代に合わせて小細工するよりも、特別なシチュエーションを考えて物作りをすることが大切になっています。大ヒット商品が、一人の人をイメージして生まれたりすることはよくあります。複数で買うから高価なものも可能なお祝いの品、家でお祝いする節句の品、ライフスタイルの変化、終活、人生百年時代にふさわしいもの、一生もの、受け継いで欲しいもの、使い育てができるもの、断捨離後の暮らしの彩る美しい本物、キーワードはたくさんあります。
- ・単に価格が安い、色柄がきれいというだけでは、現代の消費者の琴線には響かないので、まずはターゲットを定めて、どんな人に、どんなシチュエーションで使ってもらいたい作品なのかの掘り下げると良いと思えます。

## 「異業種とのコラボなど意外性のある新境地を開拓。」

- ・ファッションやアートなど異業種とのコラボレーションを模索することで、表現の幅が広がり、新境地が開拓できると思えます。また、そちらの業界のファン層を引き入れることが出来ます。
- ・もっとかけ離れたジャンルの組み合わせで、意外性のある新たな価値を生み出してほしい。(相互補完的な関係性の組み合わせ、例えば、ファッションブランド×伝統工芸、または、アーティスト×伝統工芸など)

## 「使い手に寄り添った表現機能の探求を望む。」

作り手の表現(デザイン)と機能が一体となっているものもあればまだまだ両者がかみ合っていないものもありました。使い手に寄り添った表現機能の探求を望みます。



応募要項、応募票はホームページをご覧ください

ダウンロード [https://kyokai.kougeihin.jp/association\\_info/koboten2020/](https://kyokai.kougeihin.jp/association_info/koboten2020/)

